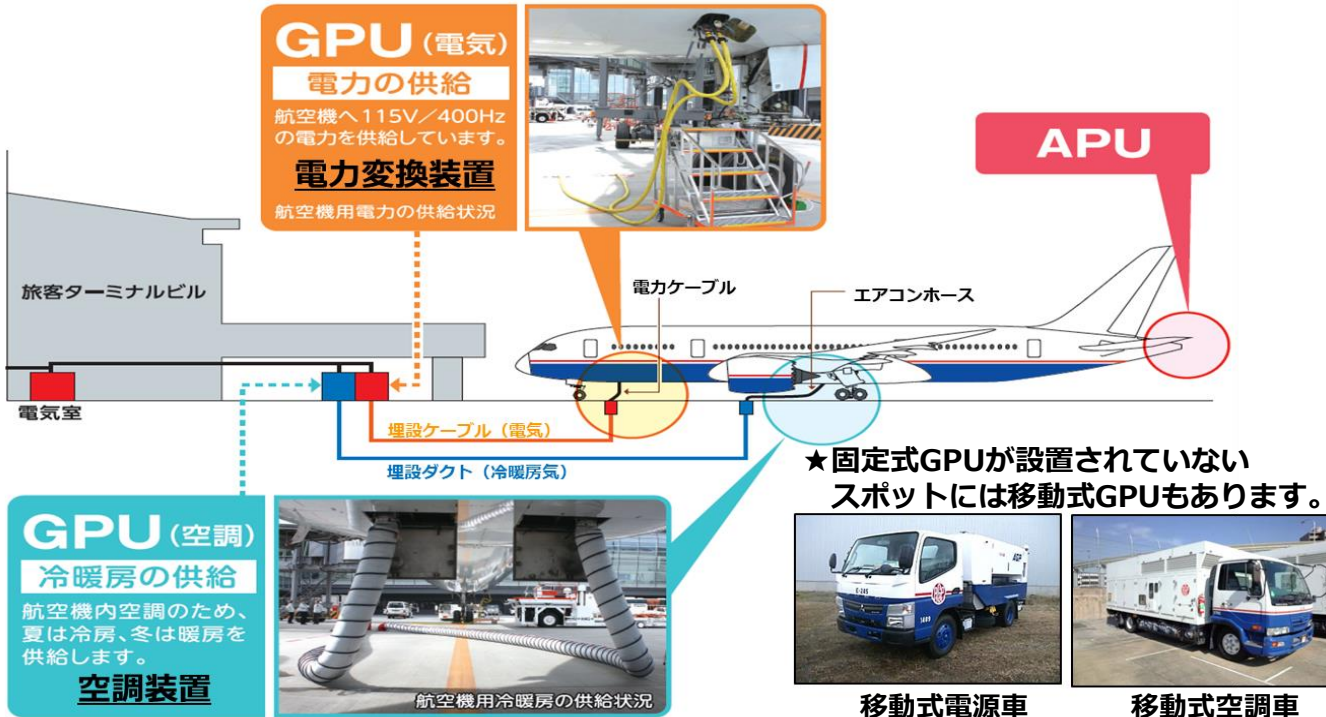


福岡空港内事業者の取り組み (株式会社エージーピー)

航空機の後部には**APU (Auxiliary Power Unit : 航空機用補助動力装置)**が装備されており、駐機中に必要な電力や空調を補うことができます。**APU**は小型のJet Engineと同じ構造で航空燃料を消費します。従って**APU**の稼働によりCO₂を含む排出ガス、航空機用燃料の消費、騒音が発生することから、各航空会社では**積極的にAPUを止める取組み**を実施しています。株式会社エージーピーでは、航空機が**APU**を止めるために必要な**GPU (Ground Power Unit : 航空機用地上動力設備)**を、福岡空港の国内線・国際線スポットに設置し、各航空会社の**空港環境負荷の抑制への取組み**に貢献しています。



【電力変換装置】
90kVA~180kVA
国内線 # 1~#12
国際線 #53~#58



【空調装置】
大型機用
国内線 # 7~#10

各航空会社は、GPUを使用することにより下記の効果があります。

GPUにより排出されるCO₂はAPU使用時の約1/10以下!

その1 CO₂排出量の削減 (APU vs GPU 1/10以下)

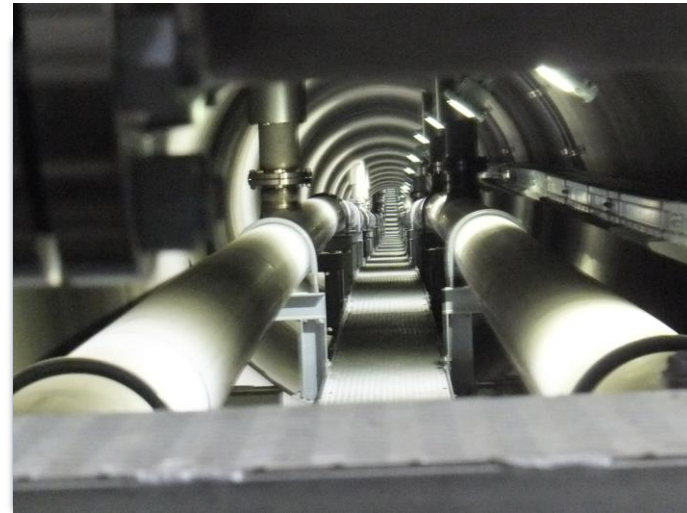
その2 燃料消費量の削減 (航空燃料)

その3 騒音の低減

（安全で耐久性に優れたハイドラント給油システムの導入）



サービサーを使用した燃料給油



シールドトンネルの中に設置された
ステンレス製燃料配管とLED照明

【エコな取り組み】

- ①サービサー給油中は車両エンジンを停止 →CO2削減に貢献
- ②ステンレス製の燃料配管を採用 →配管の腐食はなく半永久的に使用可能
- ③燃料配管はトンネル内に敷設 →万一の燃料漏洩も場所の特定・対処が容易
- ④燃料が漏洩してもトンネル内に滞油 →土壌汚染はなく環境負荷ゼロ
- ⑤トンネル内の照明は消費電力の少ないLED照明を設置 →省エネ化を実現

● 国際貨物上屋における環境・省エネルギーに向けた取り組み

【上屋内での省エネ】

LED照明の採用、天井そばへの採光用窓の設置、上屋シャッターの半透明化、ブロック毎の照明ON/OFF徹底などの節電のほか、冷凍庫・冷蔵庫へのカーテンの設置による冷気逃れの抑制、熱気の排出のための換気ファン設置など、上屋内で各種の省エネの取り組みを行っております。

採光用の窓



シャッターの半透明化



ビニールカーテン



換気ファン



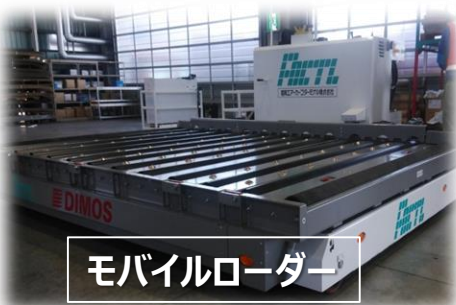
【運搬車両のEV化】

上屋内の運搬作業車両にEV車両を導入し、排気ガスの抑制により、地球環境はもちろん、上屋内の作業環境の向上にも寄与しています。

バッテリーフォークリフト



モバイルローダー



福岡エアーカーゴターミナル株式会社（FACTL）は、アジアの玄関口である福岡空港において、国際貨物共同上屋を管理・運営する企業として、グローバル化に伴い増大・多様化する国際航空貨物の安全輸送をサポートしております。

会社名：福岡エアーカーゴターミナル株式会社

所在地：福岡市博多区大字上臼井623番地

設立：1989年6月1日

事業内容：輸出入貨物の蔵置、荷役及び貨物の取扱い
荷役機材及び機器の整備、保管、賃貸